

後期基本計画策定に向けて

まちづくりの基本方針3

伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる(観光・交流)

本市の持続的な発展を維持するため、今後も転入超過を継続できるよう、移住の促進や受入体制づくりを進め、定住人口の拡大を目指します。

世界遺産に登録された韮山反射炉をはじめとして、豊かな自然環境や美しい景観、歴史的遺産等、地域資源を最大限に活用するため、観光推進体制を強化し、外国人旅行者を含めた観光交流人口の拡大を目指します。

●施策の大綱 3-1 移住定住の促進

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 5年間の社会動態数の平均(転入数-転出数)の増加  
評価/遅れている

○指標(成果指標) / 移住相談をきっかけとした移住者数  
評価/順調に推移している

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
18 定住地としての魅力の発信	※定住に向けた魅力発信は『シティプロモーション』としてまとめてはどうか。
19 移住・定住の促進と移住後の支援実施	※移住者交流会の継続とその情報発信を含めて、『シティプロモーション』としてまとめてはどうか。 ※施策の効果を正確に把握することは難しい。プロモーション活動のアウトプット評価でよいのではないか。

●施策の大綱 3-2 観光推進体制の強化と交流人口の拡大

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 観光交流客数の増加  
評価/遅れている

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
20 伊豆の国市版DMOの構築による地域資源を活用した新しい観光の推進	※観光DMOについて『観光・交流の推進』としてまとめてはどうか。 ※文化とつながる品格のある企画、イベント、高齢ゆとり層向けのもてなしによる観光地経営を加えてはどうか。
21 観光周遊のまちづくり	※歴バスのるーらの参加者拡大に期待。 ※観光周遊は『観光・交流の推進』としてまとめてはどうか。
22 スポーツ&ヘルスツーリズムの推進	※健康的なツーリズムは『シティプロモーション』としてまとめてはどうか。 ※具体的な取り組みは民間との協働を積極的に取り入れていく(市でサポートできることを模索していく)必要性を記述してはどうか。
23 広域観光及び明治日本の産業革命遺産観光の推進	※2022大河ドラマに先行したPRを計画的に展開。アイデアWS、市民を巻き込んだサイドストーリーなどを前面に出してはどうか。 ※他施策とあわせて『シティプロモーション』としてまとめてはどうか。

●施策の大綱 3-3 情報発信力の強化とおもてなしの充実

○指標(成果指標) / 伊豆の国市の認知度

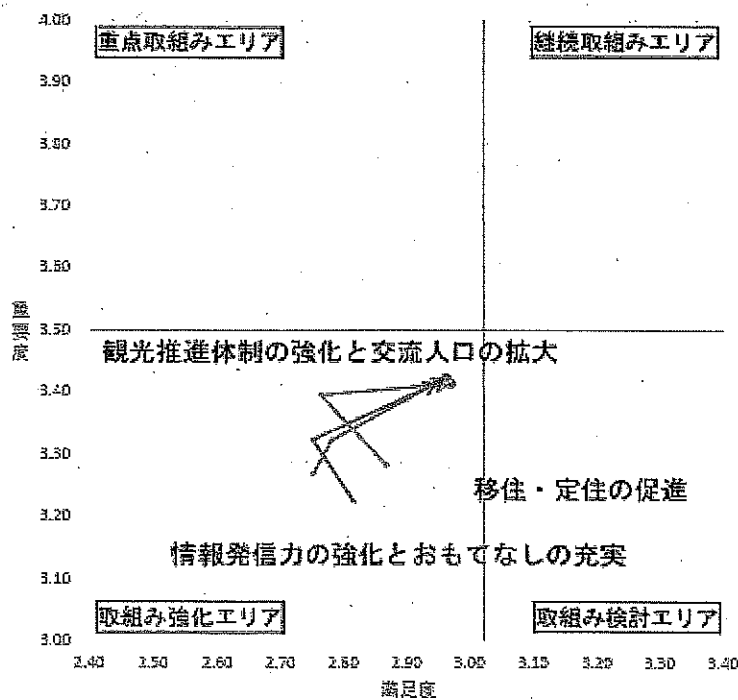
評価／遅れている

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
24 シティプロモーションの推進	※2022大河ドラマに先行したPRを計画的に展開。アイデアWS、市民を巻き込んだサイドストーリーなどを前面に出してはどうか。 ※他施策とあわせて『シティプロモーション』としてまとめてはどうか。
25 観光資源に関するわかりやすい情報伝達とおもてなし	※『観光・交流の推進』の中に情報伝達としてまとめてはどうか。

◆市民アンケート調査結果

項目	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
平均値	3.02	3.50	2.86	3.48	2.85	3.38
6 移住・定住の促進	2.97	3.41	2.76	3.40	2.87	3.28
7 観光推進体制の強化と交流人口の拡大	2.96	3.42	2.78	3.32	2.75	3.27
8 情報発信力の強化とおもてなしの充実	2.95	3.41	2.75	3.32	2.82	3.23



市民アンケート結果では、全体平均と比較すると市民からの「満足度」「重要度」ともに低くなっている。

コロナウイルスの影響により全国的にも「ひとの流れ」が制限を受けており、現状としては厳しい状況である。アフターコロナに向け、新しい生活様式に合わせた柔軟な取組が重要と考える。

この基本方針は「伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱の一つでもあり、少子化対策に向けた取組の一つとして、より注力していかなければならない分野である。

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる(観光・交流)			担当部署	
施策の大綱	1 移住・定住の促進(交流)			政策戦略課	
成果指標①	5年間の社会動態数の平均(転入者数－転出者数)の増加				
	基準値(2015年度)		17.0人	目標値(2021年度)	40.0人
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 32.0人	(期待値) 36.0人	(目標値) 40.0人		
実績値	-13.0人	-51.0人			
達成状況	未達成	未達成			
取組実績 (取組計画)	・毎月の転入出者の集計。	○計画 ・転入出者の集計及び分析。 ●実績 ・毎月の転入者数の集計。	○計画 ・転入出者の集計及び分析。		
評価・ 改善内容	・期待値から大幅に低い結果となっている。転入者にはリターン施策、転出者には市内の魅力発信をPR等、ターゲットを整理し事業を推進する必要がある。	・期待値から大幅に低い結果となっている。 ・ターゲットを絞って市の支援施策や情報を発信し、新生活応援補助金や移住・就業支援金を活用しつつ、移住定住を促進する。			
成果指標②	移住相談をきっかけとした移住者数(累計)				
	基準値(2015年度)		5人	目標値(2021年度)	40人
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 28人	(期待値) 34人	(目標値) 40人		
実績値	111人	139人			
達成状況	達成	達成			
取組実績 (取組計画)	・適宜相談の受付。 ・ふるさと帰郷支援センターを協働した移住相談の実施。	○計画 ・ウィズコロナを見据えた移住相談体制の構築。 ●実績 ・R2実績は28人。 ・静岡まるごと移住フェア11月、2月実施。 ・出張移住相談2月実施。	○計画 ・対面・メール・電話・オンラインなど、多様な方法で移住相談を受け付ける。		
評価・ 改善内容	・引き続き、事業を推進していく。	・ウィズコロナをふまえ、オンラインと対面方式を使い分けながら、引き続き、業務を推進していく。			
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 2/2		概ね順調に推移している(大綱は1つのみ達成だが、主要事業が全て達成しているため)。		

主要施策	18 定住地としての魅力の発信		担当部署	政策戦略課
主要施策の 成果指標	移住定住サイトのアクセス者数(累計)			
	基準値 (2015年度)		目標値 2,000人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 1,330人)	(期待値 1,670人)	(目標値 2,000人)	—
実績値	31,796人	48,067人		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度実績は12,818人。</li> <li>・サイト運営及び保守。</li> <li>・市HPに専用バナーの設置。</li> <li>・地域情報等の発信(随時)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・積極的な地域情報の発信(コラム、インタビュー、イベント、移住に関する補助金など)。</li> <li>●実績</li> <li>・R2実績は16,271人。</li> <li>・移住者インタビュー2名実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・移住・定住支援サイトの改修。</li> </ul>	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス数は増加傾向にあるため、引き続き、移住につながるよう内容の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス数は増加傾向にある。</li> <li>・内容の更新を行い、引き続き、市の魅力発信に努める。</li> </ul>		

主要施策	19 移住・定住の促進と移住後の支援実施		担当部署	政策戦略課
主要施策の 成果指標	移住相談件数(累計)			
	基準値 27件(2015年度)		目標値 200件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 140件)	(期待値 170件)	(目標値 200件)	—
実績値	437件	512件		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1実績は114件。</li> <li>・面談や電話、メールのほか出張相談や移住体験イベントを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・新型コロナ対策もふまえ、オンライン相談を実施予定。</li> <li>●実績</li> <li>・R2実績は75件。</li> <li>・コロナ禍で上半期はイベントの実施ができず、また相談者も来訪しにくい状況だった。</li> <li>・1月ごろから相談件数が増えはじめ、オンラインでの移住イベントや相談会も実施することができた。</li> <li>・新生活応援補助金の創設。</li> <li>・いずのくに暮らしイチャオン隊結成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・社会情勢に応じてオンラインと対面を使い分けながら、イベントや相談会を実施する。</li> </ul>	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数は、増加傾向にある。社会情勢をふまえ、多様な相談方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で、3密の回避や、県境をまたぐ移動の自粛など、対面での相談や現地訪問が難しくなっている。</li> <li>・引き続きオンラインを活用しつつ、社会情勢をふまえ、対面でのイベントや相談会の実施を検討していく。</li> </ul>		

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる(観光・交流)			担当部署
施策の大綱	2 観光推進体制の強化と交流人口の拡大(観光・交流)			観光課
成果指標	観光交流客数の増加			
	基準値(2015年度)	234万人	目標値(2021年度)	280万人
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項
	(期待値) 265万人	(期待値) 272万人	(目標値) 280万人	
実績値	193万人	70万人		
達成状況	未達成	未達成		
取組実績 (取組計画)	・各種イベントや市内旅館との協働による観光誘客活動。	○計画 ・着地型観光商品を活用し、市内の周遊性の向上を図る。 ●実績 Go Toキャンペーン活用や市独自の1万人宿泊キャンペーン(延利用者数:9,158人)を実施	○計画 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に、観光施設、歴史遺産、商業施設など市内の周遊性の向上を図る。	
評価・ 改善内容	・蜷山反射炉など入場者が減少傾向にある文化施設への対策が必要である。	・コロナ禍によりアフターDC事業他、イベントの中止が相次ぎ集客できなかった。		
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 4/8	やや遅れている。		

主要施策	20 伊豆の国市版DMOの構築による地域資源を活用した新しい観光の推進		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	体験型・着地型旅行商品開発件数(累計)			
	基準値 - (2015年度)		目標値 15件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 9件)	(期待値 12件)	(目標値 15件)	—
実績値	20件	22件		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・新規商品10件 ・販売数425件	○計画 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に、歴史巡り商品の造成に取り組む。 ●実績 新規商品2件 販売数232件	○計画 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に、歴史巡り商品の造成に取り組む。	
評価・ 改善内容	・静岡DCや伊豆の国ふるさと博覧会により、地域資源の掘り起こし、商品化に取り組んできた。今後は、旅行商品としての磨き上げを行う。	・静岡アフターDCやふるさと博覧会の事業はコロナ禍で中止となり、実績が上がらなかった。		

主要施策	21 観光周遊のまちづくり		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	観光周遊者の人数			
	基準値 (2015年度)		目標値 500人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 300人)	(期待値 400人)	(目標値 500人)	—
実績値	408人	331人		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタル自転車とのセット券</li> <li>・反射炉セット 379枚</li> <li>・いちご狩りセット 23枚</li> <li>・みかん狩りセット 6枚</li> <li>・歴バスのる〜ら2,126枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・歴バスのる〜らの周遊コースの検討。</li> <li>・観光型Maas実証実験(Izuko)の実施。</li> <li>●実績</li> <li>・レンタル自転車とのセット券230枚</li> <li>・歴バスのる〜ら566枚(協会販売分)</li> <li>・観光型Maas利用者(イズベリーバスポート)101件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・歴バス乗る〜らの周遊コースの検討</li> <li>・地域資源をつなぐ周遊コンテンツ作成</li> </ul>	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタル自転車と観光施設入場券のセット販売により、周遊を促進するため、PRIに力を入れていくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でバス等公共交通よりレンタサイクルや自家用車での周遊が多い。</li> <li>・感染症対策の徹底</li> </ul>		

主要施策	22 スポーツ&ヘルスツーリズムの推進①		担当部署	スポーツ振興課
主要施策の 成果指標	スポーツイベントの参加人数の増加			
	基準値 3,198人(2015年度)		目標値 4,500人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 4,070人)	(期待値 4,280人)	(目標値 4,500人)	—
実績値	5,612人	1,475人		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元旦マラソン・ウォーキング大会、駅伝大会、ロゲイニング大会、しずおかSF(バレー・ゲートボール・弓道)、少年柔道錬成大会ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・スポーツイベントの実施。</li> <li>・モンゴル国との交流。</li> <li>・運動機会の維持・充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画</li> <li>・スポーツイベントの実施。</li> <li>・モンゴル国との交流。</li> <li>・運動機会の維持・充実。</li> </ul>	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントが増えたため参加人数が増加し期待値が達成できた。前年同イベント対比では参加人数は増加傾向にあるが、イベントが1つ減ったため参加人数の合計は前年より減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍によりスポーツイベントの中止・縮小により参加人数が減少した。</li> <li>・コロナ禍によるスポーツイベントの充実。</li> </ul>		

主要施策	22 スポーツ&ヘルスツーリズムの推進②		担当部署	スポーツ振興課
主要施策の 成果指標	サイクルスポーツイベント件数の増加			
	基準値 1件(2015年度)		目標値 3件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 2件)	(期待値 2件)	(目標値 3件)	—
実績値	6件	2件		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・ライド&ライド伊豆狩野川、BPスタンプラリー、伊豆サイクルアワード、サイクルモード出展、自転車安全セミナー、サイクルマップ改訂版作成	○計画 ・既存サイクルイベントの実施。 ・新規サイクルイベントの実施。	○計画 ・既存サイクルイベントの実施。 ・新規サイクルイベントの実施。	
評価・ 改善内容	・サイクルイベントは増加傾向にある。引き続き、サイクルイベントの実施に努める。	・コロナ禍によりサイクルイベントの中止があったが期待値は達成できた。 ・更なるサイクルイベントの実施に努める。		

主要施策	22 スポーツ&ヘルスツーリズムの推進③		担当部署	スポーツ振興課
主要施策の 成果指標	ノルディックウォーキングコース認定数			
	基準値 1(2015年度)		目標値 2コース(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 2コース)	(期待値 2コース)	(目標値 2コース)	—
実績値	1コース	1コース		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	・ノルディックウォーキング大会の開催。 ・ノルディックウォーキング教室の実施。	○計画 ・認定コースを活用した大会や教室の実施。 ・新たに認定コースの設置検討。 ●実績 ・認定コースを活用した大会や教室を実施したが、新たな認定コースの設置はしなかった。	○計画 ・認定コースを活用した大会や教室の実施。 ・新たに認定コースの設置検討。	
評価・ 改善内容	・認定コースを活用した大会や教室を実施したが、新たな認定コースの設置はしなかった。 ・今後も認定コースを活用した大会や教室を実施していくが、新たに認定コースを設置するか検討する。	・今後も認定コースを活用した大会や教室を実施していくが、新たに認定コースを設置するか検討する。		

主要施策	22 スポーツ&ヘルスツーリズムの推進④		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	日帰り入浴施設利用者数の増加			
	基準値 25万人(2015年度)		目標値 30.5万人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 28.7万人)	(期待値 29.6万人)	(目標値 30.5万人)	—
実績値	14.4万人	5.36万人		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	H31度 日帰り入浴全体 144,884人(89.2%) 市内日帰り入浴87,476人 (96.7%) 蕪山温泉交流館39,794 人(79.5%) 蕪山温泉館5,884人 (52.8%) 長岡南浴場11,730人 (109.3%) ( )内は前年度比	○計画 ・公共用地再配置計画に基 づく蕪山温泉館の無償譲 渡。 ・長岡南浴場の運営につい ての検討。 ●実績 ・蕪山温泉館無償譲渡完了 ・コロナにより長岡南浴場は 1年間休館 ・その他市内日帰り入浴施 設45,270人 ・高齢者温泉交流館8,370 人	○計画 ・長岡南浴場の運営の検討	
評価・ 改善内容	・長岡北浴場は廃止、長岡 南浴場はコロナで3/5～ 3/31閉館、蕪山温泉館 10/5～3/31、交流館10/8 ～12/2、3/5～3/31まで湯 湯ポンプ故障及びコロナに より閉館、また新型コロナウ イルス感染症の関係もあり、 全体的に利用者が少なか った。	・コロナ禍で日帰り入浴施 設利用者減少した ・3月に作成された日帰り温 泉マップを活用していく		

主要施策	23 広域観光及び明治日本の産業革命遺産観光の推進①		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	美しい伊豆創造センター管内の観光交流客数の増加			
	基準値 4,309万人(2015年度)		目標値 4,700万人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 4,570万人)	(期待値 4,630万人)	(目標値 4,700万人)	—
実績値	4,385万人			—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	・静岡DCキャンペーンを4～ 6月に実施。	○計画 ・美伊豆管内スタンプラリー の実施。 ・1～3月伊豆地域における JR重点販売の実施。 ・大河ドラマを主軸とした協 議会の検討。 ●実績 静岡アフターDCキャンペー ンはコロナ禍により中止。 ・美伊豆管内スタンプラリー 「伊豆の自慢プリン」「いず ぽん」の実施。 ・大河ドラマを主軸とした広 域協議会の設立	○計画 ・広域協議会を中心とした 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」 関連の管内歴史的観光資 源の発掘と活用。	
評価・ 改善内容	全体では昨年度比94.4%。 DC期間中は、前年度比 104.2%と増加傾向がみら れたが、10月は台風の影響 により前年比85.3%、3月は 新型コロナの影響で前年比 58.1%。	コロナ禍により、管内の観 光交流客数は前年比 0.12%と大幅に減少。		



主要施策	23 広域観光及び明治日本の産業革命遺産観光の推進②	担当部署	文化財課
主要施策の 成果指標	「明治日本の産業革命遺産」情報発信アプリのアクセス数		
	基準値 ー (2015年度)		目標値 36.5万回 (2021年度)
	2019年度	2020年度	2021年度
	(期待値 24.3万回)	(期待値 30.4万回)	(目標値 36.5万回)
実績値	3,451回	3,487回	ー
達成状況	未達成	未達成	ー
取組実績 (取組計画)	・パンフレットや啓発品等にアプリのQRコードを掲載するほか、PRイベントを実施。	○計画 ・HPやSNS等での情報発信。 ●実績 ・蕪山反射炉パンフレットへの掲載による周知	○計画 ・蕪山反射炉パンフレットへの掲載による周知
評価・ 改善内容	・目標値と実績値が大きく乖離しており、目標値の見直し等が必要である。	・目標値と実績値が大きく乖離しており、目標値の見直し等が必要である。	



第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる(観光・交流)	担当部署	
施策の大綱	3 情報発信力の強化とおもてなしの充実(観光・交流)	政策戦略課	
成果指標	伊豆の国市の認知度の向上		
	基準値(2015年度) 652位		目標値(2021年度) 400位
	2019年度	2020年度	2021年度
	(期待値) 484位	(期待値) 442位	(目標値) 400位
実績値	617位	643位	特記事項
達成状況	未達成	未達成	
取組実績 (取組計画)	・各種事業を通じたシティプロモーション活動。	○計画 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を軸としたシティプロモーション活動の実施。	○計画 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を軸としたシティプロモーション活動の実施。
評価・改善内容	・微増ではあるが、順位は年々上昇傾向にある。	・順位は微減したが、大河ドラマの放映に向けた準備を進めており、今後情報発信を強化していく。	
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 2/3	やや遅れている。	

主要施策	24 シティプロモーションの推進	担当部署	政策戦略課
主要施策の 成果指標	情報接触度の向上		
	基準値 523位(2015年度)		目標値 300位(2021年度)
	2019年度	2020年度	2021年度
	(期待値 374位)	(期待値 337位)	(目標値 300位)
実績値	498位	513位	(特記事項ほか)
達成状況	未達成	未達成	—
取組実績 (取組計画)	・映画「時の行路」ロケ誘致。 ・北条早雲没後500年祭関係。 ・韮山反射炉ガイダンスセンター企画展。 ・関東ブロック物産観光連絡協議会記者会見におけるアフターDCのPR。	○計画 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を軸として、市内外へ産業、文化面等に係るシティプロモーション活動を行う。 ●実績 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を軸として、市内外へ産業、文化面等に係るシティプロモーション活動。	○計画 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を軸として、市内外へ産業、文化面等に係るシティプロモーション活動を行う。
評価・改善内容	・2018年度の582位から大幅に上昇していることから効果的な取組ができたといえる。今後も大河ドラマを軸に継続的な取組を行う。	・順位は微減したが、大河ドラマのロケ誘致に向けた取り組みなどを通じ、今後に向けた準備を進めることができた。	

主要施策	25 観光資源に関するわかりやすい情報伝達とおもてなし①		担当部署	文化財課
主要施策の 成果指標	歴史ガイド利用者数の増加			
	基準値 40,400人(2015年度)		目標値 150,000人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 113,500人)	(期待値 131,700人)	(目標値 150,000人)	—
実績値	117,548人	32,335		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内史跡等におけるガイド活動のほか、県民の日等にイベントを実施。</li> <li>ガイド活動団体のスキルアップを図るため、江川家住宅(建造物)に関する研修を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス等の影響による来訪者の大幅な減少に伴い、実績値が期待値を大きく下回るとは間違いない。</li> <li>・2022年大河ドラマに向けた勉強会等を実施し、ガイドの質の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>●実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対象者(来訪者)数の大幅減少、及び、ガイド活動の休止期間が合計144日に及んだことなどにより、実績値も前年を大きく下回った。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大河ドラマに向け、北条家関係の史跡・伝承地等におけるガイド活動を展開するため、研修等を通じて知識の習得に努める。</li> </ul> </li> </ul>	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標は達成しているが、実績値は年々減少傾向にあるため、案内場所や内容、方法等について検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績値はやむを得ない結果であるが、活動休止期間中においてもガイド技術を維持する取組が必要である。</li> </ul>		

主要施策	25 観光資源に関するわかりやすい情報伝達とおもてなし②		担当部署	観光課
主要施策の 成果指標	公衆無線LAN利用促進ポータルサイトアクセス件数の増加			
	基準値 8,060件(2015年度)		目標値 104,000件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 71,020件)	(期待値 88,010件)	(目標値 104,000件)	—
実績値	105,178件	44,849件		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内アクセス件数29,048件(昨年度比81.5%)。</li> <li>・特集記事内容の更新(6件)、新規記事1本の作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集ページの製作依頼等を取りやめ、ポータルサイトの運用保守委託費を削減する。</li> </ul> </li> <li>●実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集ページの製作依頼等を取りやめ、ポータルサイトの運用保守委託費を削減</li> <li>・観光交流人口の減少により市内アクセス件数21,175件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルサイトの運用の見直し</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準値、目標値、実績値は、三島市、沼津市、伊豆の国市、伊豆市の合計の数値。(平成30年から各市町ごとのアクセス件数算出可能となったため)</li> </ul>
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4市合計のアクセス件数としては、目標値に達成しているが、市内のアクセス件数は、昨年度より下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により市内アクセス件数、4市合計件数とも減少。</li> </ul>		

## まちづくりの基本方針3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる(観光・交流)

施策の大綱 3-1 移住・定住の促進

将来の姿／

移住・定住者が定着し、地域の担い手として活動しています。

■ 指標(成果指標)

5年間の社会動態数の平均(転入数-転出数)の増加

移住相談をきっかけとした移住者数

[主要施策]

### 18. 定住地としての魅力の発信

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
定住地として全国に誇れる地域資源や優れた交通環境、充実した子育て環境、医療環境、教育環境、生涯学習環境等を様々な角度から捉え、「伊豆の国ライフ」に関わる多様な情報をパッケージ化した映像等による効果的な紹介を、首都圏や県内を中心に発信します。	・「伊豆の国ライフ」プロモーション動画の配信	・YouTubeにより「住むなら伊豆の国」を配信中	
	・フィルムコミッションの展開	・映画(時の行路)のロケ地を誘致(平成31年度)	
	・移住定住サイトの内容の充実	・移住定住サイトを運営及び保守を行った。また、市HPに専用バナーを設置し、広くPRを行った。サイトへのアクセス数は令和元年度実績で12818人。累計31,750人。	
	・首都圏等での移住定住イベントへの出展	・首都圏で開催するふるさと回帰フェアや静岡まるごと移住フェアに出展して首都圏からの移住を促進した。(令和元年度実績で5回)	

[主要施策]

### 19. 移住・定住の促進と移住後の支援実施

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
本市での生活に関する情報発信と移住相談の受付、移住者に対する助成や移住者同士の情報交換の機会の創出を行う等、多世代に本市への移住を後押しする取組を展開するとともに、移住後のサポートにも取り組めます。	・相談受入れ態勢の整備(移住相談窓口の開設)	・庁舎窓口に加え、オンライン相談での実施体制を構築した。(令和2年度) ・先輩移住者を相談役として「いずのくにぐらしイチオシ隊」を結成した。(令和2年度)	
	・移住者に対する助成制度の推進(若年世帯定住補助金)	・住宅取得に関して、住宅金融支援機構と協定を結び、「フラット35(子育て支援型)」における金利の引き下げ支援を実施した。 ・市にUターンをし、就業しながら奨学金を返還している勤労者に対し、奨学金返還支援を行った。(令和元年度実績:新規11人、継続23人。交付額1,224,000円) ・Uターン啓発冊子を3,000部作成し、成人式での配布や市内公共窓口、ふるさと回帰支援センターに配架した。	
	・移住後の支援(情報の一元化、情報交換、既存地域組織との交流等)	・先輩移住者を含めた交流会を実施。(令和元年度、平成30年度、平成29年度) ・先輩移住者を相談役として「いずのくにぐらしイチオシ隊」を結成した。(令和2年度)	

施策の大綱 3-2 観光推進体制の強化と交流人口の拡大

将来の姿

伊豆の国市版DMO(※1)の構築により、地域主体の新たな魅力づくりと観光の活性化が実現しています。韮山反射炉をはじめとした歴史的な観光資源を目的とした観光交流客が、着地型観光商品を活用し市内を周遊しています。周遊性の向上により、観光交流客の市内滞在時間が延長し、まちに賑わいをもたらしています。

■ 指標(成果指標)

観光交流客数の増加

[主要施策]

20. 伊豆の国市版DMOの構築による地域資源を活用した新しい観光の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
国内外の旅行ニーズに対応するため、観光産業や地域資源を活用する多様な主体が参加し、内外の視点から本市の観光を戦略的に推進する組織となる「伊豆の国市版DMO」の設立を支援します。「伊豆の国市版DMO」は、一元的な情報発信、予約システムの構築、着地型旅行商品の開発・販売、ガイド育成等、幅広い活動の中心的な役割を担っていきます。	・「伊豆の国市版DMO」設立及び運営の支援事業の実施	・平成29年度に伊豆の国市観光まちづくり協議会を設立。 ・平成30年度には地域資源の掘り起こしを目指し、伊豆の国おんぱく実行委員会を立ち上げ、伊豆の国ふるさと博覧会の開催を支援。 ・令和2年度に組織の見直しを行い、伊豆の国おんぱく実行委員会が広く観光まちづくりを推進する団体として「ひとつなぎ伊豆の国。」となった。	
	・一元的な情報発信、予約システムの構築に対する支援事業の実施	・観光交流人口増を目的に、観光情報を発信する伊豆の国市観光協会、伊豆長岡温泉旅館協同組合に対し、補助金を交付した。	
	・着地型旅行商品の開発・販売網の販路拡大等に対する支援	・地域資源を活用した旅行商品の造成を行った。(平成30年度実績:31件) ・平成30年度静岡DC(ブレ)伊豆の国市実行委員会特別企画「人間国宝 野村万作による狂言の華」を実施	
	・日帰り及び宿泊客を対象とした体験型・着地型旅行商品の開発	・野外・現代花アート展として、韮山反射炉隣接の蔵屋鳴沢丘陵地を実施した。(来場者数:2,908人) ・静岡DCと連動した地域資源の掘り起こしにより商品化を促進した。 ・体験型・着地型旅行商品開発件数は累計で20件となり、販売件数は延べ425件(令和元年度実績)となった。(令和2年度HP掲載数23販売数232件)	
その他	・観光基本計画アクションプラン(前期)の進捗状況を確認するため、観光戦略会議を開催した。  ・観光まちづくりに関する講演会を実施した。(平成30年度参加者数:16人、令和2年度参加者数68人)  ・伊豆の国ふるさと博覧会を開催した。(平成29年度冬参加者数:1,798人、平成30年度秋参加者数:925人、令和元年度参加者数517人)		

[主要施策]

21. 観光周遊のまちづくり

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
韮山反射炉、江川邸、いちご狩りセンター等の観光資源を結び、観光周遊型のまちづくりを推進します。温泉場通りの景観整備や界限性の創出により、温泉地らしい空間の魅力向上を図ります。	・観光周遊のパンフレット作成及び首都圏への配布、誘客PR活動の実施	・観光交流人口増加のため、観光パンフレット、啓発用職、ポスター制作を行った。(平成30年度実績:パンフレット 48,000部)	
	・観光周遊バスルートの整備(バスストップの設置、ルート案内図の設置、車内アナウンスによる乗客へのおもてなし)	・静岡DCのため、観光周遊型バスの平日運行を増便した。(平成29年度実績:127日、平成30年度実績:192日、R1:144日、R2:99日)	

(続き)	・歴バスのる～ら(バス愛称)のPR	・観光周遊型バスの利用者特典として、バス乗車券の半券を提示すると、近隣飲食店でサービスを受けられる体制を整えた。 ・レンタル自転車と観光施設入場券のセット販売により、周遊を促進した。(令和元年度実績:レンタル自転車とのセット券は反射炉セット379枚、いちご狩りセット23枚、みかん狩りセット6枚、歴バスのる～ら2,126枚) R2年度実績:レンタサイクルとのセット券230枚、歴バスのる～ら566枚)	
	その他	令和2年度、観光型Marrs(イズベリーパスポート)利用者101件	

[主要施策]

22. スポーツ&ヘルスツーリズムの推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催というチャンスの到来を、地域に生み出される持続的な効果に結び付けるため、観光と健康が一体となったスポーツ&ヘルスツーリズムを推進します。スポーツ宿泊の誘致やスポーツイベント等と観光を融合させた体験型観光、サイクルスポーツの中心地づくりを推進するとともに、今後の取組にあたり医療機関の協力のもと、スポーツ医学の見地からの支援体制の充実を図ります。また、優れた泉質を活用した温泉健康プログラムを推進します。	・受入れ態勢の整備(受入れ窓口の設置、情報交換等)	・モンゴル国と事前キャンプの最終合意を締結した。(令和元年度) ・モンゴル国を迎えるため、国際交流員を委嘱した。	
	・スポーツ関係事業者等との協働の推進(メーカーや医療機関とのマッチング)		○
	・ノルディックウォーキング(※1)の推進	・ノルディックウォーキング大会の開催。(令和元年度) ・ノルディックウォーキング教室の実施。	
	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を意識した社会体育設備の充実	・長岡体育館柔道場の畳を新調した。(平成30年度)	
	・狩野川の河川空間等を活用した自転車道ネットワークの確立とサイクルスポーツの推進	・「地域活性化推進首超連合会」「自転車競技静岡県開催推進委員会」「自転車競技伊豆半島・東部地域首長会議」への参画。 ・市内公共施設等を中心に、バイシクルピット設置した。(令和2年度:累計25箇所)	
	・優れた泉質を活用した、観光とスポーツが融合したスポーツ&ヘルスツーリズムの推進	・ライド&ライド伊豆狩野川、BPスタンプラリー、伊豆サイクルアラウンド、サイクルモード出展、自転車安全セミナーの実施。サイクルマップ改訂版の作成。	
	・市内温泉旅館との積極的な連携	・日帰り入浴客数 令和元年度実績:144,884人(日帰り入浴客・葦山温泉交流館・葦山温泉館・長岡南浴場)、令和2年度実績:45270人(日帰り入浴客数・葦山温泉交流館・葦山温泉館)	
その他	・元旦マラソン・ウォーキング大会、駅伝大会、ロゲイニング大会、しずおかSF(パレー・ゲートボール・弓道)、少年柔道錬成大会の実施。参加人数は令和元年度実績で5,612人となった。		

[主要施策]

23. 広域観光及び明治日本の産業革命遺産観光の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
国内観光だけでなく、急増する外国人来訪客の積極的な誘致と受入れ態勢を整備するため、美しい伊豆創造センター等と連携を図り、広域観光を推進します。	・美しい伊豆創造センター等と連携した広域観光の展開	・伊豆の国市を主会場としてコンベンションを実施した。(平成30年度実績:1回、令和元年度実績:5回) ・美しい伊豆創造センター管内の観光交流客数は、令和元年度実績で4,385万人となった。	
	・外国人観光案内の充実	・美しい伊豆創造センター・コンベンションビューローと連携し、海外観光展PRエージェントに向けた商品PRを実施した。	
	・観光・宿泊施設等の看板の多言語化(案内板、パンフレット、ポスター)	・海外メディアを誘致した。 ・観光宿泊施設等の案内看板、パンフレット、ポスターの多言語化を推進した。	
その他	・駿豆線魅力めぐりウォーキングを開催した。(平成30年度実績:14回、令和元年度実績11回)		

	(続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駿豆線沿線地域活性化協議会として、首都圏観光キャンペーンを開催した。(平成30年度実績:3回、令和元年度実績:4回)</li> <li>・教育分野におけるジオパークの普及・展開として市内5小中学校と教育委員会から計7名の先生がジオツアーに参加した。</li> <li>・“魅力いっぱい” 関東甲信越静岡6県の観光展へ出展</li> <li>・食による市民へのアプローチとして、市内事業者がお弁当、かき氷、パンなどのジオ関連商品を開発した。(平成30年度実績:5品)</li> </ul>	
施策内容	主な取組	実績	未実施
情報発信アプリを制作・配信	・「明治日本の産業革命遺産」情報発信アプリの制作・配信の実施	・「明治日本の産業革命遺産」情報発信アプリのアクセス数は、令和2年度実績で延べ3,487回となった。パンフレットや啓発品等にアプリのQRコードを掲載した。	
施策内容	主な取組	実績	未実施
8県11市23施設で構成される、「明治日本の産業革命遺産」観光を推進します。	・「明治日本の産業革命遺産」関係自治体と連携した「明治日本の産業革命遺産」観光情報の提供		○
	・「明治日本の産業革命遺産」観光めぐりツアーの展開		○

施策の大綱 3-3 情報発信力の強化とおもてなしの充実

将来の姿／

あらゆる機会を通じた情報発信と、再訪したくなるおもてなしが効果を発揮し、伊豆の国市の認知度が向上しています。

■ 指標(成果指標)

伊豆の国市の認知度

[主要施策]

24. シティプロモーションの推進

計画		前期基本計画の実績		
施策内容	主な取組	実績	未実施	
韮山反射炉、江川邸、いちご狩り、温泉、富士山の雄大な眺望等の観光資源をはじめとする観光地としての魅力等の多様な情報を映像等で効果的に紹介していきます。映画やテレビドラマ等の撮影に使ってもらうことで、映像を通じて市をPRするフィルムコミッションの展開により、国内外に向けたシティプロモーションを推進します。	・シティプロモーションビデオの制作及び放映		○	
	・国内外に向けたシティプロモーションの推進(街頭、Web)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町フレンドシップを活用し、「定住促進、シビックプライドの醸成、観光誘客につながる情報発信」について、沼津市、三島市と共同でシティプロモーションの研究を行った。</li> <li>・全国における伊豆の国市の認知度は令和元年度643位。情報接触度513位。上昇傾向にある。</li> <li>・「パン発祥のまち」を市内外に発信し、「伊豆の国パン祖のパン祭」を実施した。主には全国高校生パンコンテストを実施し、パン作りの内容をTV中継を交え来場者に見学してもらった。</li> <li>・パンコンテストでは、「伊豆半島ジオパーク部門」「伊豆ニューミニトマト部門」「ふるさと納税部門」を設けるなどして、地域のPRにつなげている。</li> </ul>		
	・フィルムコミッションの展開	・映画(時の行路)のロケ地を誘致(平成31年度)		
	・Facebook等SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆の国市公式ライン登録者数3350人(令和2年度末時点)</li> <li>・市公式Facebookの運用</li> </ul>		
	・民間企業と連携したPR活動の展開	・市内企業と連携したふるさと納税品による本市の魅力PR		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆の国市のHPをリニューアルした。(令和元年度)</li> <li>・市町フレンドシップを活用し、「定住促進、シビックプライドの醸成、観光誘客につながる情報発信」について、沼津市、三島市と共同でシティプロモーションの研究を行った。</li> <li>・観光交流人口を増加させるため、観光情報発信を行う団体(伊豆長岡温泉協同組合)に補助金を交付した。(平成30年度実績:1件 3,500千円、R1:1,375千円、R2:3,000千円)</li> </ul>		



(続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に映画「時の行路」ロケを誘致した。</li> <li>・ふるさと納税を通じて特産品や観光地としての魅力をPRした。</li> <li>・令和元年度に北条早雲没後500年祭を実施した。</li> <li>・令和元年度に関東ブロック物産観光連絡協議会記者会見におけるアター-DCのPRを実施した。</li> </ul>
------	--

[主要施策]

25. 観光資源に関する分かりやすい情報伝達とおもてなし

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
韮山反射炉ガイダンスセンターを活用した、反射炉の案内・解説を展開します。歴史資源等の専門知識を持った歴史ガイドや体験観光ガイドの育成等を行い、利用者ニーズに応じた案内・解説の充実を図ります。	・歴史ガイドや体験観光ガイドの育成(ガイド育成講座・スキルアップ講座の開設)	・史跡・文化財に対する理解の促進のため、「伊豆の国歴史ガイドの会」「伊豆の国外国語ガイドの会」「伊豆の国市シルバー人材センター」に委託し、来訪者の理解増進、満足度向上を図った。 ・歴史ガイド利用者数の増加に向け、市内史跡等でのガイド活動や県民の日等にイベントを実施。 ・ガイド活動団体のスキルアップを図るため、令和元年度に江川家住宅(建造物)の研修を実施。	
	・韮山反射炉ガイダンスセンターを活用した分かりやすい案内や解説	・令和元年度に韮山反射炉ガイダンスセンター企画展を実施した。 ・歴史ガイドの利用者数は、令和元年度実績で117,548人となった。	
国内外の来訪者の情報通信の利便性向上を図るため、市内各所に公衆無線LANの普及を促進します。また、公衆無線LAN利用促進ポータルサイトを構築し、おもてなしの環境の向上を図るとともに、観光情報の提供と周遊性の向上を図ります。	・市内各所への公衆無線LANの普及・設置促進	・伊豆長岡庁舎、韮山反射炉、韮山時代劇場等に制限付き無料Wi-Fiを設置した。	
	・公衆無線LAN利用促進ポータルサイトの充実主な取組	・ポータルサイトは、令和元年度実績で特集記事内容の更新(6件)、新規記事を1本作成した。 ・公衆無線LAN利用促進ポータルサイトアクセス件数は令和元年度実績で29,048件、令和2年度実績21175件なった。	
屋外広告物条例に基づいた、市全域を対象としたサイン計画を策定し、誰もがわかりやすいサインを段階的に整備していきます。	・観光、教育、避難等、統合型サイン計画の策定(案内表示板、案内図・ガイドブックの多言語化)		○
	・サイン計画に基づいたサインの設置	・韮山反射炉への推奨ルート(伊豆中央道北江間IC～韮山反射炉)間の道路誘導標識を整備した。	

